

もりの森の話

第16話
根釧西部森林管理署
滝吉 将輝

採用二年目の若手職員のコーナーです

釧路市阿寒町に所在する雄別森林事務所へ赴任してから、早いもので6ヶ月が経ちました。



私が働く雄別森林事務所

北海道森林管理局の計画課から当森林事務所へと赴任した当初は、現場での業務について行くことが出来るか不安でしたが、経験豊富な森林官と行政専門員の方に、現場での業務のやり方や林内で活動するために必要な知識を教えてもらい、国有林を管理するためのスキルを少しずつ身につけています。去年の5月頃、まだ局の計画課にいた頃に緊急事態宣言が出された時は、テレワーク等による7割出勤回避に取組みましたが、今年も緊急事態宣言に伴う感染防止対

策に取組む中で、皆さんと協力し円滑な業務運営に努めています。

管轄している担当区内には釧路地方の観光スポットとして「シュンクシタカラ湖」や「雄別炭鉱跡地」があるため、そこを訪れようとしている方から多くの問い合わせをいただいています。



日本で最後に発見された湖とされているシュンクシタカラ湖

局にいた頃に次の勤務地が釧路市だとわかった時は、釧路市は夏でも涼しい印象だったため快適な生活が送れると思っていました。事務所は釧路市と言っても内陸部にあり、7月～8月は気温が30度前後になる日も多く、エアコンの効いた車内が一番快適でした。

森林事務所での主な業務

は、林野巡視や委託業務の監督などですが、日々の業務の傍らにキノコや山菜を発見したり、野生動物と出会ったりと、普段体験することが出来ないことばかりでとても楽しいです。



巡視中に出会ったキツネ

特に、林野巡視では、安全運転に心がけ林道を走ることになりますが、私は車が好きなので、林道上での様々な状況への対処など色々な経験ができます。(余談ですが、愛車は冒頭の写真に写っている、局時代にお世話になっていたシムニーです)

今後は、雄別森林事務所にて1台配備されているドローンを積極的に運用し、日々の

現場業務の効率化へつなげていきたいと考えています。

また、以前OWL(森林3次元測定システム)や3Dウォーカーという機器に触れる機会がありました。OWLは林内で立ってボタンを押すだけ、3Dウォーカーは機械を背負って林内を歩くだけでそれぞれスキャン範囲内にある木の樹高や直径などを自動計測し、さらに1本1本の樹形も3次元データ化しパソコン上で見ることができるといって大変便利な代物なのですが、いずれこれらが各署に配備されるようになれば、使いこなせるようになりたいと思います。



雨で深く洗掘されてしまった林道の様子